



# 信太の森ニュース

No. 26

2017年6月15日



卵囊を孵化させて育てたカスミサンショウウオの幼生（2cmほど）を湿地の池に放流しました

今、信太山丘陵ではホトトギスが盛んに鳴いています。鳴きながら飛ぶのでその姿をカメラに捉えることは至難の業です。

ホトトギスは平安の昔から信太山丘陵「信太の森」にやって来ていたようです。その信太の森がどんな森だったのか、その様子を窺わせる資料があります。それは後拾遺集や新古今集などに詠われている和歌です。

五月来ば信太の森のほととぎす

こづたふ千枝の数ごとに鳴け

(堀河百首 源 俊頼)

信太の森ふるさと館の10年誌に「信太の森」を詠み込んだ和歌が75首掲載されています。その内の15種にホトトギスが詠み込まれています。

因みに野鳥ではカッコウ2首、アマサギ1首があり、平安の頃からホトトギスがよくやって来ていた様子がわかります。

ホトトギスはウグイスの巣に託卵します。託卵されるウグイスもその当時から多かったのでしょうか。

4月の市有地保全作業時に笹刈りをした折

NPO法人 信太の森FANクラブ

事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202

電話 0725-45-7357

E-mail [tamahati@amber.plala.or.jp](mailto:tamahati@amber.plala.or.jp)

り、ウグイスが巣を掛けている笹まで知らずに刈ってしまいました。その一つには卵が5つありました。その巣を別の笹藪に戻しておいたのですが、2, 3日後誰かに取られていました。

ホトトギスはその年にもよりますが、5月下旬頃にやってきて7月初め頃には去っていきます。ウグイスの繁殖時期です。

7月後半から8月頃に鳴くホトトギスがいたら、それは多分託卵してウグイスに育てられた幼鳥のホトトギスに違いありません。



作業時に見つかったウグイスの巣と卵

## 平成29年度総会終わる

平成29年度総会が5月7日(日)に信太の森ふるさと館で開催されました。

総会にはこれまでになく26名(過半数)もの出席者があり、委任状17名を併せ43名となり、28年度事業報告並びに事業会計収支報告書、29年度事業計画並びに活動計算書(NPO会計の関係で収支予算書がその内容とともに名称が変更されました)が異義なく承認されました。

事業計画書では、昨年度計画に掲げながら実施までに至らなかった環境教育事業について、昨年度事業推進チームで具体的検討が進められてきたことが報告され、今年度はその実施にこぎ着けること。写真展の開催や大阪自然史フェスティバル等に参加して広報活動を実施していくことが報告されました。

## 花田茂義さんを偲ぶ会

5月7日(日)FANクラブ総会終了後、午後1時から前理事長であった花田茂義さんを偲ぶ会が惣ヶ池湿地奥の広場で開催されました。参加者は会員19名、一般参加者3名の22名。

最初の予定は、花田さんが保全を手がけ始められたツツジの丘で行う予定でしたが、当日は晴天に恵まれたものの日差しが強かったため、ツツジの丘で記念写真を撮った後惣ヶ池湿地の新緑に覆われた広場に移動し、そこにシートを広げて各自持参の弁当を食べながら、菱木さんの司会のもとで偲ぶ会を行いました。

参加者それぞれに花田さんとの思い出、人柄などが語られ、最後にシング・ソングライターである廣石さんによる作詞・作曲「私の好きな信太山」が披露され、偲ぶ会は終了しました。



偲ぶ会に参加されたみなさん

## 公園協議会による保全活動

公園協議会による市有地保全活動は、4月が車道西側の広場拡張(北側へ)と東側のコモウセンゴケ観察地の笹刈りを、午後からの調整会議では、現地を歩きながら東側尾根筋の枯れ松の調査、展望台設置場所の検討、園路の検討を行いました。

5月は車道西側の北側への拡張、ハチク林の間伐が行われました。午後からの調整会議

では、市事務局から今年度の年間保全計画と保全講座計画が示されました。

議論の中で、保全計画では車道西側の笹藪の拡張を重点に進めていくこととし、東尾根筋の天水池と周辺の整備を進めていくことが話し合われたほか、定例活動日以外で保全活動が可能な会員を登録し、活動内容も協議会承認のもとに活動ができる自主活動部会新設の提案があり、総会に諮ったうえで承認され、部会員登録が一定進めば実施していくことになりました。

保全講座については、これまで保全講座を受講した会員（団体登録会員も含む）を対象に、樹木、枯れ松の伐採や坂道の階段作りなどの実習を提案し了承されました。

## カスミサンショウウオ放流

2月26日に三者合同観察会で実施したカスミサンショウウオ卵囊調査で見つかった卵囊の一部をカスミサンショウウオの飼育経験がある一般参加の千賀さんと会員である上村さんに持ち帰って育てて貰いました。

上村さんが飼育した百数匹は4月の観察会で、千賀さんが飼育してくれた27匹は5月14日の公園協議会作業日に参加したみなさんと惣ヶ池湿地の池に放流しました。



カスミサンショウウオの幼生

惣ヶ池湿地にはウシガエル、ダイサギなど天敵もいることから、このうちの何匹が成体となって上陸できるか心配になりますが、無事に成長することを願って放流しました。

## 環境教育事業着々と

今年度計画の重点事業ともいえる環境教育事業が事業推進メンバーの小学校への働きかけにより着々と進められています。

5月23日これからの進め方について推進チームの会議を行い、推進メンバーの一人で鶴山台北小学校のPTA役員でもある稲井さんから校長先生と話を進めていただいた結果、5月26日に3年生担任の先生二人と会うことになりました。

各種メニューを用意して推進メンバー3人で担任の先生と会い、子どもたちにとって身近に自慢できる豊かな自然があることを伝えたい旨を説明したところ、信太山丘陵現地案内の承諾を得ました。既に先生方の現地案内も済み、推進メンバーによる打ち合わせ、リハーサルを行って6月21日に実施の方向で進んでいます。

## 惣ヶ池湿地の保全活動日変更

今年度4月から惣ヶ池湿地の保全活動日を変更しました。奇数月は第2水曜日と従来どおりですが、偶数月は第2日曜日に変更しました。

この変更は、これまでの例会でトラスト協会会員の参加者が過去（日曜日）に比べると少なく、土曜日を日曜日に変更することにより増えることを狙っての変更です。

変更後第1回目の4月の保全活動日は生憎の雨で中止となりました。

5月はスイレンの抜取と今期作業の根止めを行い、植菌をして積んでおいたシイタケのほだ木を立て掛ける作業、蛙の草刈を行いました。

6月の活動日は、6月21日に鶴山台北小学校の3年生を案内するため、湿地内の畦道の草刈とぬかるむ畦の足場作りを行いました。外周柵は、今年度も助成金の支給を受け、今年度早期に完成する方向で進めています。

## ホームページリニューアル

2年前の総会のときと記憶していますが、会が終わった後、花田前代表が「これからは、ホームページを充実させなくてはだめだ」という趣旨の発言をされたことが忘れられません。

それからホームページの内容が更新されないことがずっと気になっていましたが、昨年にお声掛けいただきお手伝いさせていただくことになりました。

一般的に、ホームページは、PR 目的に作るものと思われていますが、諸団体などでは、設立経緯や目的、設立以降の情報を保存しメンバー間での共有が可能となるツールとして有益と考えています。

FAN クラブのページにおいても目的、1986 年以降の保全活動の経歴、湿原地域の過去の経過、周辺地域の文化と歴史、動植物の写真などが貴重な資料として保存されており、リニューアルにあたり、これらをすべて引き継ぐ内容としました。

ページを見るためには、検索サイトで「信太の森 2016」で検索し、「信太の森 2016 年改訂版」を開いてください。

スマホからは、QR コードから開くこともできます。

これからも信太の森の貴重な資料をどんどんアップしたいと思っていますので皆様のご協力をお願いします。

(米田彰一)



ホームページのホーム画面



## <トピックス・信太の森>

その①

惣ヶ池湿地にコモウセンゴケが咲くのを楽しみに、その生息場所のネザサをハサミで丁寧に取り除き日当たりを良くしてやりました。

その作業をしていて目に付いたのが、この湿地の過去の記録にはない植物が生えてはじめていました。それは、コモウセンゴケと同じ条件のところに生える食虫植物のイシモチソウだったのです。今シーズン花も咲かせてくれました。これからは惣ヶ池湿地でもイシモチソウが楽しめそうです。

その②

前号に絶滅寸前のシソクサの種が採取できたこと、2月にその種を撒いたことを載せましたが、惣ヶ池湿地に蒔いた種は、まだ芽が出ず失敗したような気配です。

5月にシソクサ栽培の経験があるH氏に種の一部を渡して自宅で播種して貰ったところ3株発芽したとの連絡を最近受けホットしました。種の1/3はまだ冷蔵庫に保管していますが、栽培技術もH氏に教わらなければと考えています。

### お知らせ

#### FANクラブ写真・絵画展について

と き 7月21日～8月下旬  
場 所 信太の森ふるさと館

出展作品を募集しています。  
写真はA4サイズ、絵画は6号まで

出展希望者は7月6日までに出展数を事務局までお知らせください。作品搬入は7月15日までに信太の森ふるさと館に預けてください。電話：090-1225-9159

### お知らせ2

#### ハッチョウトンボを見に行きませんか？

行き先は三重県伊賀上野の湿地です。7月下旬を検討中。希望者は6月末までに事務局までご連絡下さい。人数把握の上詳細は連絡します。電話：090-1225-9159 (田丸)